

# 平成24年度 事業報告

社会福祉法人 心和会  
特別養護老人ホームめぐみの社

## 1. 目的に沿った活動

### (1) 活力ある施設づくり

オープン以来、慎重に、利用者個々の状況・施設における生活および対応するケア、施設とスタッフの活動について確認しながら受け入れを進めてきた。そのため、稼働率の上昇は緩やかであったが、通常では経験できない、利用者一人に対する介護スタッフの配置が非常に厚い状態での介護が実現でき、人間対人間としてのふれあいを重視した、生き生きとした生活の支援ができた。

### (2) 地域交流とサービス

地域と密着したサービスを目指し、入所判定においては、近住性にも重点をおいて選考を行った。また、市内の各関係機関との連携を図り、サービス提供体制の整備に努めているところである。なお、次年度に向け、地域ボランティアの受け入れや小中学校等の教育機関との交流、自治会等主催のイベントへの参加・施設内イベントへの招待等、地域との交流を図るべく活動の準備を進めている。

## 2. 利用者の処遇

### (1) 生活相談・支援

- ・利用者の人権を尊重し、個別性に重点をおいて、一人一人にとっての「その方らしい生活」「よりよい生活」の把握に努めた。ご本人およびご家族の声、思いを聞き取り、施設生活に反映するべく努めてきた。
- ・ご家族および身元引受人となる方との連絡体制を保ち、随時の連絡・相談を行った。特に事故や体調の変化については、迅速かつ正確な連絡を行い、信頼関係の構築に努めた。

### (2) 給食

- ・バランスのとれた栄養に留意しつつ、利用者にとって最大の楽しみである食事が、おいしく楽しく提供できるように工夫を凝らした。
- ・管理栄養士による、栄養ケアの準備を行った。
- ・厨房の衛生管理について、管理栄養士を中心に、マニュアルおよび作業手順の整備に努力した。

## 3. 健康管理

- ・看護職員が不足する中、嘱託医師および協力医療機関の支援・協力を得て、利用者個々の病歴や現況を的確に把握し、生活の中でできる・行うべき健康管理の理解・実施に努めた。
- ・内服薬の管理や服用介助の手順等について、マニュアル化し、試行・修正を行った。
- ・入所後の生活における健康管理がスムーズに行えるよう、入所時の情報処理の手順を整理しマニュアル化した。

#### 4. 行事

- ・毎月、季節に合わせたイベント食を提供。
- ・桜の花見ドライブや日常的な散歩など、屋外に出て過ごせる機会を確保した。
- ・「家族会」については、入居が進み次第、結成の準備を進める予定。

#### 5. 防災

- ・緊急時の対応マニュアルの作成
- ・緊急連絡網の作成
- ・防災設備の点検

#### 6. 日課

起床洗面	7:00
朝食	8:00
お茶	10:00
入浴・アクティビティ	10:00～11:30
昼食	12:00
入浴・アクティビティ	14:00～17:00
おやつ	15:00
夕食	18:00
消灯就寝	21:00
排泄介助	随時

#### 7. 職員数

施設長	1名			
看護師および看護職員	3名(派遣:1名、非常勤:2名)	医師(非常勤)		1名
生活相談員	2名(内1名兼務)	介護支援専門員		2名(内1名兼務)
介護職員	21名	機能訓練指導員		1名
管理栄養士	1名	調理員		6名
事務職員	2名			
		計		39名

#### 8. 利用者受け入れ実績

月	12月	1月	2月	3月
受入者数	3	10	5	6
退所者数	0	0	1	0
在籍者数	3	13	17	23